

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【公開番号】特開 2016-221297 (P2016-221297A)

【公開日】平成 28 年 12 月 28 日 (2016.12.28)

【年通号数】公開・登録公報 2016-070

【出願番号】特願 2016-137619 (P2016-137619)

【国際特許分類】

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2017.01)

A 6 1 K 31/65 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/43 (2006.01)

A 6 1 K 31/7048 (2006.01)

A 6 1 K 31/496 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2017.01)

【 F I 】

A 6 1 L 31/00 B

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 31/65

A 6 1 P 31/04

A 6 1 K 31/43

A 6 1 K 31/7048

A 6 1 K 31/496

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/42

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 23 日 (2019.8.23)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インプラント式経皮的医療デバイスと、

少なくとも 1 種の生体吸収性ポリマーコーティングを有するメッシュを含むデバイスであって、前記コーティングが、経時的に溶出される少なくとも 1 種の有効薬剤を含み、前記インプラント式経皮的医療デバイスの注入ポートの中及びその周囲に固定された、デバイスとを備え、

前記インプラント式経皮的医療デバイスが胃ラップバンドであり、該胃ラップバンドが、(1) 胃バンドと、(2) 注入ポートと、(3) 接続管とを有し、

前記注入ポートの中及びその周囲が、前記胃ラップバンドを少なくとも部分的に取り囲

む若しくは覆う領域、又は前記胃ラップバンドを取り囲む領域に隣接した領域を含む、システム。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 種の生体吸収性ポリマーコーティングが、チロシン誘導ポリエステルアミドを含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記チロシン誘導ポリエステルアミドが、チロシン誘導ポリエステルアミドの P 2 2 ファミリーのメンバーである、請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記チロシン誘導ポリエステルアミドの P 2 2 ファミリーにおける遊離酸のパーセンテージが、5 % ~ 40 % の範囲である、請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記コーティングが、チロシン誘導ポリエステルアミドと、ポリ乳酸、ポリグリコール酸、ポリ(L-ラクチド)(PLLA)、ポリ(D, L-ラクチド)(PLA)ポリグリコール酸[ポリグリコリド(PGA)]、ポリ(L-ラクチド-co-D, L-ラクチド)(PLLA/PLA)、ポリ(L-ラクチド-co-グリコリド)(PLLA/PGA)、ポリ(D, L-ラクチド-co-グリコリド)(PLA/PGA)、ポリ(グリコリド-co-トリメチレンカーボネート)(PGA/PTMC)、ポリ(D, L-ラクチド-co-カプロラクトン)(PLA/PCL)、ポリ(グリコリド-co-カプロラクトン)(PGA/PCL)、ポリ(オキサ)エステル、ポリエチレンオキシド(PEO)、ポリジオキサノン(PDS)、ポリプロピレンフマレート、ポリエチルグルタメート-co-グルタミン酸)、ポリ(tert-ブチルオキシ-カルボニルメチルグルタメート)、ポリカプロラクトン(PCL)、ポリカプロラクトンco-ブチルアクリレート、ポリヒドロキシブチレート(PHBT)、ポリヒドロキシブチレート、ポリ(ホスファゼン)、ポリ(ホスフェートエステル)、ポリ(アミノ酸)、ポリデブシペプチド、ポリイミノカーボネート、ポリ[(97.5%ジメチル-トリメチレンカーボネート)-co-(2.5%トリメチレンカーボネート)]、ポリ(オルトエステル)、チロシン誘導ポリカーボネート、チロシン誘導ポリイミノカーボネート、チロシン誘導ポリホスホネート、ポリエチレンオキシド、ポリアルキレンオキシド、及びヒドロキシプロピルメチルセルロースからなる群から選択される少なくとも 1 種のポリマーとを含む、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のシステム。

【請求項 6】

前記有効薬剤が、抗菌剤、麻酔薬、凝血促進剤又は抗炎症剤である、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載のシステム。

【請求項 7】

前記抗菌剤が、抗生物質、消毒薬及び殺菌剤からなる群から選択される、請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記抗生物質が、テトラサイクリン、ペニシリン、マクロライド、リファンピン及びこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項 7 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記有効薬剤が、リファンピン、ミノサイクリン又はこれらの混合物であり、前記リファンピン、ミノサイクリン又はこれらの混合物の少なくとも 60 % が、24 ~ 36 時間以内に放出される、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載のシステム。

【請求項 10】

胃ラップバンドと、

少なくとも 1 種の生体吸収性ポリマーを含む組成物であって、経時的に溶出されるリファンピン及びミノサイクリンを含み、前記組成物が、前記胃ラップバンドの注入ポートの中及びその周囲に固定され、該胃ラップバンドが、(1)胃バンドと、(2)注入ポートと、(3)接続管とを有し、

前記注入ポートの中及びその周囲が、前記胃ラップバンドを少なくとも部分的に取り囲む若しくは覆う領域、又は前記胃ラップバンドを取り囲む領域に隣接した領域を含む、組成物とを備える

システム。

【請求項 1 1】

前記組成物が、パテ剤、ペースト剤、ゲル剤、フォーム剤、軟膏剤及びクリーム剤からなる群から選択される製剤である、請求項 1 0 に記載のシステム。

【請求項 1 2】

前記少なくとも 1 種の生体吸収性ポリマーの量が、重量で前記組成物の 3 0 % ~ 8 0 % の範囲である、請求項 1 0 又は 1 1 に記載のシステム。

【請求項 1 3】

前記少なくとも 1 種の生体吸収性ポリマーが、チロシン誘導ポリエステルアミドである、請求項 1 0 ~ 1 2 のいずれかに記載のシステム。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 0 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 0 9】

< 実施例 4 >

メッシュ又はゲル（本明細書に記載されている）は、1 又は複数種の抗菌剤、麻酔薬、凝血促進剤及び / 又は抗炎症剤等が挙げられるがこれらに限定されない少なくとも 1 種の A P I を、腹腔鏡の調整可能な胃バンド（L A G B）のデバイスの注入ポート（ガス注入ポート又はリザーバとしても知られている）の中に及び / 又はその周囲の領域へと送達するように設計される。先の研究は、感染が L A G B デバイスの注入ポートに関連することを実証する（F a c e k ら、A N Z J S u r g 8 0（2 0 1 0）5 0 6 ~ 5 0 9）。デバイスは、L A G B デバイスの注入ポートの中及び / 又は別の部分へと、及び / 又は隣接の組織へと固着されて、1 つ又は複数種の抗菌剤、麻酔薬、凝血促進剤及び / 又は抗炎症剤等が挙げられるがこれらに限定されない固定用量の少なくとも 1 種の A P I を、注入ポートの中に及び / 又はその周囲にある期間溶出するであろう。本デバイスの臨床目的は、放出される薬物により決定され、この臨床目的としては、鎮痛、感染低下、抗凝血及び L A G B デバイスの改善された宿主耐性（h o s t t o l e r a n c e）が挙げられる。